

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給付の要支給額に相当する額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	181,008	20,123		201,131
合計	181,008	20,123		201,131

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当金)	(うち一般正味財産からの充当金)	うち負債に対応する額
特定資産				
退職給付引当預金	201,131	(0)	(1,131)	(200,000)
合計	201,131	(0)	(1,131)	(200,000)

4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	当期減少額
未収金	0	0	0
合計	0	0	0